

義務教育学校 基本コンセプト（案）に対する意見一覧 【学校管理職】

キャッチコピー	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 「京築オンライン」と中央中学校の「京築ナンバーワン」が「少数精鋭」と「切磋琢磨」が差別化されており、しかも目ざす姿が明確でよいと思います。 ☞ 競争力よりも特定の能力に特化した児童生徒が育ちやすい環境だと感じています。（同意です。意見ありません。） ☞ きめ細やかな指導を通して、一人一人の個性や能力を把握し、最大限に力を発揮できる環境が整うことがうかがえます。また、義務教育学校として9年間の教育活動を通して、進路の目標を児童・生徒に明確に持たせることで、実現に向けた指導が行われることが期待されます。 ☞ 少数精鋭という言葉は、実態に合っているかどうか。「少人数(少数)できめ細やかな指導で夢を実現する(進路を拓く)学校」という感じになるのではないかと。
ポイント1	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 4-3-2…前期の4年間と中・後期を合わせた5年間の構想は素晴らしいと思います。 ☞ 多面的・多角的な視点から教員が関わることでできるため、一人一人に応じた支援が可能であるということがわかりました。 ☞ 義務教育学校だからこそ取り組めることがまとめられている。 ☞ 義務教育学校のよさがいかされると、とてもよいと思う。 ☞ 職員室が一つになることで、小中の相乗効果が生まれる。 ☞ 発達段階に応じた3ステージ制を導入し、9年間のカリキュラム編成と教員組織を設定し、義務教育学校の特色がよく出ていると思いました。小中教員が相互に連携したり、進路支援の充実を設定したりして、計画的に指導できる良さが出ています。 ☞ 3ステージ制は特に意見なし、単式でどの学年もいけばよいが、そうならない年度はどうするか課題。教員の免許(小中)、質が課題となるのでは ☞ 「中期から部活参加OK」となっていますが、中央中学校では、小学生の部活参加はないようです。「義務教育学校のセールスポイント」ということでしょうか。 ☞ 中期から部活となると、中体連等の参加はできるのかどうか。 ☞ 中央中学校と同じようなICT活用、国際交流の視点を取り入れてほしい。英語教育をもう少し、前面に出してもいいのではないかと。中央中学校や中央小学校などとの差が出ないか。(ハード的、ソフト面からの教育環境)取り残され感を抱かないか。
ポイント2	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 9年間一貫した方針で部活動ができるよさがあると考えます。(中学校にシームレスにつながる運動クラブ、文化部) ☞ 少人数でも部活動で活動できることが分かる。 ☞ 5年生からの部活は9年生をお手本にでき、9年生から見ても年下と関われるチャンスだと思う。 ☞ 高学年から中学生までの発達段階で、一人ひとりの得意なことを生かした部活動を通して、児童・生徒の力を最大限に発揮できる環境が設定されていると思いました。 ☞ 4年生で課内クラブ(正課)と称して5年生からの部活動イメージづくりしていただくといいと思います。中高一貫校が中学部と高等部で一部合同の部活動を展開し、高い成果をおさめている例を考えると気が乗ります。ただし、これには優秀な部活動顧問と、部活動内での過度の上下関係、いじめを絶対に見過ごさない・許さないムード維持が必要だと考えます。 ☞ やりたい部活動が義務教育学校にないため、高学年から、他校へ転出することもあるのでは。文化系、個人競技のみの部活動に限られる ☞ 部活動が多いので、各部活に入る人数が少なくなるとの心配があると思う。 ☞ 少人数の良さを生かした運動部になると、集団で行う部活動(野球、サッカー、バスケットボール、バレーなど)の運動部に入りたい子どもにたいする支援をどうするか。たとえば、部活動については、中央中学校と合同で行うなど、できないだろうか。7年生～9年生において、中央中学校との差を感じる。
ポイント3	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 特別支援教育の視点で学校づくりを行うことが分かり、よいと思う。 ☞ 地域の歴史や文化など、特色を最大限に活かすことができる学習を設定することで、地域に根付き、故郷を大切に作る人材を育成することを目指していることがうかがえます。義務教育学校の特色を活かした教育活動が充実できると思いました。 ☞ 「豊前学」が1年～9年までしっかりとつながるように、カリキュラムを早く考えることが大切だと思う。 ☞ 同意です。意見ありません。 ☞ 配慮の必要な児童生徒に対する指導の技量が問われる、生徒にとって安心できる教師集団組織となり得るか ☞ ポイント3での一番のアピールポイントは、「豊前学」かなと思いました。 ☞ ゆず祭りへの参加、うめぼしづくり、農業体験等も入れてみてよいと思いました。 ☞ キャッチコピー「少数精鋭で夢を実現する」ことにつながるとありますが、「少人数の豊前義務教育学校だからこそできる取組とは何か。」「中央中学校との違いは何か。」と思いました。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ☞ カリキュラムイメージ図は分かりやすくよいと思います。 ☞ これまでの合岩小・中学校のセールスポイントが融合されていてよいと思います。 ☞ ある程度の競争力も必要ですので、安定した児童生徒数の確保を望みます。 ☞ 文言等は特に意見はないが、小中の文化を共有し、協調し合える教師集団の組閣が大事であると考えます。また、義務教育学校の先進校に学ぶ研修(学校訪問)の機会を設定し、開校までの準備や課題の説明を受けたり、質疑したりすることで、スムーズな開校になると思われる。 ☞ 合岩校区の子どもたちは、学校を選ぶことができるのかどうか。中央中学校の「切磋琢磨する」中で学ばせたい保護者もいるのではないだろうか。

中央中学校 基本コンセプト（案）に対する意見一覧 【学校管理職】

キャ チ コ ピ ー	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 京築の中で、「学力」「人権意識・優しさ」そして「耐性」が突出して高い生徒を鍛えるための環境づくりを進めていきたい。そして、豊前市に戻ってくる人材育成を推し進めるために、豊前市の良さを分からせることはもちろん、「自分の子ども(子孫)もぜひ豊前市で育てほしい」と願うほどの教育リソースを提供したい。(基本的に同意です。意見ありません。) ☞ 中央中学校の「京築ナンバーワン」と義務教育学校の「京築オンリーワン」、そして「切磋琢磨」と「少数精鋭」が差別化されており、しかも目ざす姿が明確でよいと思います。 ☞ 京築ナンバーワンという高い志がうかがえてよいと思う。 ☞ 市内の中学生が多数集まる環境から、自他を認めながら自分の力を最大限に発揮し、自分の進路を実現できる学習環境であることがうかがえます。高校進学以降も、自分の目標を実現できるように、自らの可能性や能力を高め続けることができる生徒を育てることができると思いました。
ポ イ ン ト 1	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 学力を高め、進路を広げるための主な手立てがまとめられていてよいと思う。 ☞ 教員同士の磨き合い、若手の指導力向上はこれからますます大切になってくるので、よいと思う。 ☞ ICT機器の活用により、幅広い学び方を実現するとともに、オンラインによる英会話学習の充実で、生徒の力を最大限に伸ばす環境が整うと考えられます。 ☞ 外国語の会話能力・人のコミュニケーション能力にて都心部に勝てないので、企画通り学校常駐のALTのほかに、高コミュニケーションスキルをもつ人材(教員や教職員)でスタッフを構成したい。 ☞ 充実した教育環境で、オンライン学習や国際交流といった学習に特化すると義務教育学校では受けられないのではないかという負の印象を持たれるのではないか。そのことで合岩地区の生徒は中央中学校に意識が向くのではないか。 ☞ 小学校専科との連携による小中連携も加えるとよいと感じました。
ポ イ ン ト 2	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 再編することで今までできなかった運動部の紹介がされていて、よいと思う。 ☞ 地域に指導できる方を活用することで、教員の負担が減るとよいと思う。 ☞ 新設の校舎で最新の施設により、自分の得意分野を活かす環境が整うと考えられます。環境だけでなく、地域人材による専門性の高い指導で、生徒の力を最大限に伸ばすことができると思います。 ☞ 学級数によって層の厚い教員・教職員構成が見込まれる中、運動系・芸術系の部活動指導に秀でた人材が欲しい。英検の準2級(または3年生までに全員3級)の夢は、すべての教科・領域で関与する教員がそれに準じた英会話能力をもち、英検取得の魅力やムードづくりができれば素晴らしいと思う。 ☞ 中央中と義務教育学校で同じ部活動が存在しないように棲み分けを事前しておく必要があるのではないか。そのために教師、または地域指導者の人材に目をつけておく必要があるのでは。 ☞ 少人数で行う部活動を作ってもよいのではないだろうか。また、個人競技(剣道、弓道、柔道など)を行う部活動を作してほしい。(地域の指導者がいればですが) ☞ 青豊高校との連携による部活動の充実も挙げてみてもよいのではないのでしょうか。 ☞ 「得意を伸ばす」部活動の中に、手芸・裁縫や茶道等の文化系のものもあるとよいのではないかと思います。
ポ イ ン ト 3	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 豊前市の素晴らしさを、中学生の時代に感じ取らせ、自分の子ども・家族を豊前市で育てたいと思わせる教育と人材に触れさせたい。 ☞ 特別支援教育の視点で学校づくりを行うことが分かり、よいと思う。 ☞ 市内全域の歴史や文化に触れる環境を設定するとともに、発達段階に応じた学び方により、より深く故郷を学ぶことができると思います。多数の同年代の子ども達が触れ合うことにより、自他を認めながら主体的な学びや活動が充実できると思います。 ☞ 多様な人という表現がわかりにくい。 ☞ 中央中学校の「豊前学」と義務教育学校の「豊前学」のつながりが見えるようにしたらよいと思います。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 新設校舎だからこそできる教育環境や教育内容をもとにした基本コンセプトとなっており、効果も期待できます。 ☞ 今回の再編で、最も力を注ぐところかと感じています。もちろん食育(給食当番にエプロンすらない学校も珍しい)等にも力を注いでいきたい。 ☞ 合岩校区の子どもたちを含めて市内全ての校区から登校できるのか。

北小学校 基本コンセプト（案）に対する意見一覧 【学校管理職】

キャッチコピー	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 中央小と共通でよいと思う。 ☞ 地域との関係を大切にすることが分かる。 ☞ 豊前っ子→中学に向け、京築ナンバー1をめざした豊前っ子意識を早くから育てたい。 ☞ 中央小と比較して、中央中の「中学生」や青豊高校の「高校生」がすれ違う環境は学力向上や精神面の向上（こちらは大人びるかも）に影響が大きい（いい意味で同意です。） ☞ 既存の学校から児童が多数集まる新しい学校として、広範囲の地域の支援の中、個性豊かな子ども達が切磋琢磨しながら力を伸ばしていこうとするビジョンが設定されていると思います。 ☞ 中央小と北小のキャッチコピーを変えてもよいのではないかと思います。 ※ポイント2にある「多様な見方・考え方が育つ」等 ☞ 「基礎作り」⇒「基礎づくり」(さまざまな意味を含めて「作る」+「創る」と考えると平仮名で「つくる」にしたらどうかと思います。) ☞ こちらは、よいと思います。ただ、「楽しい学校」を北小学校では、よりよい人間関係が保たれるから楽しい学校である。これが中心になると考えます。それには、中央小学校とは違う取組がいるような気がします。→ポイント3へ
ポイント1	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 専科制度を導入することで、働き方改革と教員の専門性の活用及び人材育成の推進につながると考えます。 ☞ 黙っていても(キャッチコピーのように)人と交流できる立地なので、文句なしのポイントだと思います。 ☞ こちらは、よいと思います。 ☞ ICT機器を活用と専科制で、児童に求められている資質能力を育てることができる。 ☞ 基礎学力を高めるための主な手立てがまとめられていてよいと思う。 ☞ ICT機器を効果的・積極的に活用することで、個別最適な学びを充実させ、児童の学習意欲を高めることが考えられます。また、人数が多くなることから協働的な学びが充実し、多様な意見を取り入れながら深い学びが実現できると思います。さらに、専科制の導入で一人ひとりの学びが充実し、学力向上につながると考えられます。 ☞ 専科だけでなく、高学年の教科担任制を視野に入れていただけるといいと思う。 ☞ 専科制導入について、体育科、図工科なども取り入れてはどうか。 ☞ ICT推進教員を導入してはどうか。
ポイント2	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 中央小学校と差別化されてよいと思います。ポイント1と3に関しては同じなので、特色があっても良いと思います。 ☞ 地域の環境をいかすという特色が表れている。 ☞ 多国籍の方が多い地域であれば、交流することはとてもよいと思う。 ☞ それぞれの学年で、地域と連携した教育活動を進めることで、自分たちの住む豊前の歴史・文化を学び、豊前を愛する子を育てることにつながる。 ☞ 地域の特色を活かしつつ、国際的な力を身に付ける環境が整い、多様な文化を学ぶために充実した学習活動が設定できると思えました。世界の中の故郷を深く学ぶことで、より一層故郷を大切にすると人材育成を目指せると思います。 ☞ 台湾とともに、海外に在住する豊前市協力人材があれば、どしどし交流していくと思います。そのとき、教員や教職員が英語好き・外国好きが多いと助長するかも。 ☞ 台湾との交流(留学生)や国際理解教育は、総合の時間を中心に行うのでしょうか。そのように考えると、総合は①「豊前学」②「国際理解教育」③後述している「人間関係づくり」の3本立てにすることが考えられます。 ☞ 国際理解教育の一環として、修学旅行を可能なら台湾に行くのも一つの方法かなと思います。無理なら中学校ではいかがですか。 ☞ 北小が「国際理解教育」推進の場合、中央中学校に進学した際、小学校間での違いはよろしいのでしょうか。 ☞ 多面的・多角的な考えを育てる、ということで道徳教育の充実を入れてもよいと思います。 ☞ ICTを活用した外国の方との交流も入れてもよいのではないかなと思いました。
ポイント3	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 特別支援教育の視点で学校づくりを行うことが分かり、よいと思う。 ☞ Aプロ、Bプロ、立腰教育を早くから取り入れ、良い学校づくりを目指したい。 ☞ 「立腰教育」に取り組むのは大変よいと思います。 ☞ 中央小学校と肩を並べて競って欲しい。(同意です。意見ありません。) ☞ 三つの小学校は、どの学校も豊前市の中で大きな学校であり、荒れていると言われたこともあった小学校です。それを踏まえると、ポイント3の「多様な友達とよりよい人間関係を作る力を育てる」ことが、北小学校のウリになるのではないのでしょうか。具体的な取組としては、総合や特活の中で、人間関係づくりのスキルを学ぶ時間と実際に試行する時間をつくる必要があると考えます。そのスキルに関しては、大学教授やスキルトレーニング等を提唱されている方に指導をもらえるような仕組みがほしいと思います(できたら最低月2回直接指導を)。児童に直接実践してもらったり、教師の研修(指導)をしてもらったりして積極的な生徒指導ができればと思います。 ☞ 「仲の良い」はいいのではないかなと思います。 ☞ 心と体を鍛えるために「鍛ほめ」を取り入れた「北小」の全員で取り組める独自のチャレンジを設定するのもよいのではないのでしょうか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 豊前市の発展に「切り込んでいく人材(背骨)を注入できる小学校」としてありたい。そのまま中央中でアクティブ層を形成して欲しい。 ☞ 北小と中央小のコンセプトは特に差(違い)を出すことはなくてよいと思う。ある意味、校区制が残ると思う。2つの学校が切磋琢磨していけば良いと思う。居住区でどちらでも行ける学校であれば、ポイント2を多少強調して判断基準としてもらえれば良い。文言については特になし。 ☞ 小中連携の視点を入れてもよいと思います。「専科教員を通じた9年間のプログラム」「部活動につながるクラブ活動方針」等 ☞ せっかく3小学校が集まっても中学の進学で三毛門小学校の児童は吉富中学校へ行くこととなりモチベーションの持たせ方が難しいと感じます。同じ中学校へ行ければと思いました。 ☞ 八屋小学校では、祭りの時期に合わせて振替日を設定していましたが今後は難しくなりますね。祭りのために休む児童が増えそうな気がします。

中央小学校 基本コンセプト（案）に対する意見一覧 【学校管理職】

キャッチコピー	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 北小と共通でよいと思う。 ☞ <u>地域との関係を大切にすることが分かる。</u> ☞ <u>北小と比較して、公民館活動や見守り隊など、地域の温かさや囲い込みの安心感を後ろ盾に育ってくるので、いい市民に育てたい。</u>（同意です。意見ありません。） ☞ <u>既存の学校から児童が多数集まる新しい学校として、広範囲の地域の支援の中、個性豊かな子ども達が切磋琢磨しながら力を伸ばしていこうとするビジョンが設定されていると思います。</u> ☞ <u>中央小と北小のキャッチコピーを変えてもよいのではないかと思います。</u> ※ポイント2にある地域に学ぶ等 ○友と共に育つ→仲間(友達)と共に育つ、友→友達ではどうかと思います。 ☞ 「基礎作り」→「基礎づくり」(さまざまな意味を含めて「作る」+「創る」と考えると平仮名で「つくる」にしたらどうかと思います。)
ポイント1	<ul style="list-style-type: none"> ☞ <u>専科制を導入することで、働き方改革と教員の専門性の活用及び人材育成の推進につながると思います。</u> ☞ <u>しっかりと落ち着いた学習規律を作っているので、大人たちが高度情報通信設備をどしどし使って多くの勉強好き・学校好きの児童達を育てて欲しい。</u>（同意です。意見ありません。） ☞ <u>基礎学力を高めるための主な手立てがまとめられていてよいと思う。</u> ☞ <u>専科だけでなく、高学年の教科担任制を視野に入れていただけるとよいと思う。</u> ☞ <u>ICT機器を効果的・積極的に活用することで、個別最適な学びを充実させ、児童の学習意欲を高めることが考えられます。また、人数が多くなることから協働的な学びが充実し、多様な意見を取り入れながら深い学びが実現できると思います。さらに、専科制の導入で一人ひとりの学びが充実し、学力向上につながると思います。</u> ☞ 「機器の活用と・・・」を「ICT(機器)の活用と・・・」へ変えてはいかがでしょうか ☞ <u>専科制導入について、体育科、図工科なども取り入れてへどうか。</u> ☞ <u>ICT推進教員を導入してはどうか。</u>
ポイント2	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 「豊前学」を設定し、<u>地域の方から学び地域と一体となった学習を進めることができると感じます。</u> ☞ <u>地域の歴史、文化を学ぶという特色が表れている。</u> ☞ <u>他校との交流は目的意識がとてもよいと思う。</u> ☞ <u>旧校区の歴史・文化を学ぶことで、市内全体をより深く知ることができると思います。それぞれの校区を紹介し合うような学習の設定により、地域を大切にできる心が育まれると思います。</u> ☞ <u>北小のように、上級学校の生徒達を身近に感じるができない分、バーチャル的にもICTに強い人材、英検ライセンス取得者やTOEFL・TOEICのスコア保持者を身近に起きたい。あとは北小と同様に教員や教職員が英語好き・外国好きが多いと立地の弱みも解消するかも。</u> ☞ <u>中学年の地域紹介と高学年の校区紹介の違いが分かりにくい。高学年は、校区紹介を含めた学校紹介を行うようにしたらよいと思う。</u>
ポイント3	<ul style="list-style-type: none"> ☞ <u>北小学校と肩を並べて競って欲しい。</u>（同意です。意見ありません。） ☞ <u>特別支援教育の視点で学校づくりを行うことが分かり、よいと思う。</u> ☞ 「立腰教育」に取り組むのは大変よいと思います。 ☞ <u>児童数が増えることによって、多様な性格や能力を持った友達とふれ合い、自他を認め合ったり、助け合ったりする環境が整うと思います。人間関係づくりやコミュニケーション能力を高めることができる学校の特色を活かした教育活動が実現できると思います。</u> ☞ <u>クラス数が増えることで、いじめ・不登校などの問題に適切に対応できるとは、どのように対応できるということか。クラス数が増えることで、多様な友達とよりよい人間関係をつくる力を育み、いじめ・不登校のない学校にするとしたらよいのではないかと思います。</u> ☞ <u>心と体を鍛えるために「鍛ほめ」を取り入れた「中央小」の全員で取り組める独自のチャレンジを設定するのもよいのではないのでしょうか。</u> ☞ 「仲の良い」はいらないのではと思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ☞ <u>豊前市の発展に「多様な魅力を練り込む・擦り込むアイデアと人脈を發揮できる小学校」としてありたい。そのまま中央中でアイデア熟成と指示指令層を形成して欲しい。</u> ☞ <u>小中連携の視点を入れてもよいと思います。「専科教員を通じた9年間のプログラム」「部活動につながるクラブ活動方針」等</u> ☞ <u>統合する小学校のカリキュラムについて、来年度から共通化が進められるようになっていますが、「ICT機器を活用した個別最適な学び」のためにも、各学年によるICTスキルの共通化も早急に取り組んでいく必要があると思います。中学校が統合した際に、卒業した小学校によってスキルの差が大きくなると子ども達がかわいそうですし、すぐに身につけさせることも難しいと思います。せめてタイピング能力の学年目安だけでも、共通化して行く必要があると思います。このことについては、市ICT教育推進協議会でも伝えたいと思います。</u>